

授業再開における新たな行動様式について

3密を避ける
これは目的ではなく、手段・目標

すなわち

本来の目的は
新型コロナウイルス感染防止

一方 ↓

学校で3密を避けるように努める
ついでに習慣で3密になることも

そこで

教育活動と感染防止の両立には
**分散登校や講座分割等に取り組みつつも
教職員・生徒の行動様式の変容が必要**

新たな行動様式の確立

行動変容のポイント

新たな行動様式 = 互いに濃厚接触者にならない

※濃厚接触者：感染者と発症二日前から、1m以内で、15分以上の会話

咳エチケットや手洗いはもちろんのこと、**接触感染、飛沫感染のリスクを最小化**

各学校においては、登校日に「新型コロナウイルス感染症について（生徒指導用教職員資料）」などを参考に、「新しい行動様式」を指導し、再開日を迎える。感染リスクの最小化を図る。

B. C.
(Before Corona)
コロナ前の行動

【継続】常時マスクの着用
咳エチケットの励行

行 動 変 容

A. C.
(After Corona)
コロナ後の行動

会話は適切な距離をとり正面で

会話は最低1m以上離れ、正面を避ける

親友とは肩を組んだり握手をしたりする

親友であっても身体接触は極力避ける

登下校は友達と一緒に集団で

登下校は分散して、集中を避ける

車内で友達と円陣を組んで情報交換

車内では互いに向き合わず会話は控える

食事の前には手洗いを

食事の前後以外にもこまめに手洗いを

みんなと会話をしながら楽しく食べる

食事は向き合わず静かに食べる

ジョギングはみんな一緒に

ジョギングは互いの距離を保って